

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 1 年 9 月 25 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104849		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム かぐや姫		
所在地	広島市東区尾長東2-6-6		
自己評価作成日	令和1年8月3日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470104849-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和1年9月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>①毎日午後よりGH1、GH2合同でレクリエーションを内容を変えてご利用者様に楽しんで頂ける様努めている。</p> <p>②ご利用者様の日常の行動、行事等にはご利用者様の写真を撮りご家族様にお渡ししている。</p> <p>③運営推進会議では、ご家族様から他愛ない会話出来る様にお茶を飲みながら開催している。</p> <p>④ご利用者様一人一人の思いで生活出来る様、又笑顔が見れる様に職員間で連携を取っている。</p> <p>⑤地域で行われている町内会には参加し交流を深めている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>市街地に位置する事業所で地域の方が気軽に相談、利用できる体制がとれている。「相手本位の心」という運営理念のもとに、事業所に入居して良かったと思えるように、利用者個々の生活歴、意向に応じて取り組みを行っており、掃除、洗濯物畳みなどの生活リハビリや、毎日のレクリエーション、定期的な外出も実施し、笑顔で生き生きと生活を行えるようにしている。月1回のミーティングや日頃の業務の中で職員間で活発な意見交換を行い、より良いケア、支援を考え、実施している。入職時に職員に研修を実施、個人面談を1、3、6ヶ月目に行いフォローアップする体制をとっている。また、社内外の研修も定期的に行い、職員がスキルアップできる環境を整えている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(GH かぐや姫【G1】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	事業所の理念「相手本位の心」常にご利用者様には尊敬を持って接し否定する事なく、受容する姿勢を忘れず介護に従事している。	月1回のユニット合同のミーティングで事業所の理念を振り返り、それに基づいた細かい行動目標について職員間で共有し、実践に活かしている。また、個人面談により、支援内容等について振り返る場もあり、常に理念に立ち返る体制がとれている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	行事がある際は事前に町内会で報告し新聞にチラシを入れ参加を促している。出勤時やご利用者様と散歩に出掛けた時は近隣の方達と挨拶を交わしている。	事業所で行われる行事に地域の方やボランティアが参加したり、近隣の保育園児が年2回利用者と交流を図るなど、日常的に地域とのつながりの形成を図っている。長年積み重ねた地域の人との触れ合いにより、事業所が地域の中に自然な形で溶け込んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	毎月開催される町内会や夏祭りなどで法人による相談の窓口を設けている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度開催しているが、早めに民生委員地域包括センター、家族様に連絡している。開催の際には現状について、今後の取組み、又ご家族様からの意見・要望を聞き的確に答えられる様に努めている。	運営推進会議は地域包括支援センター、家族、事業所職員が参加し行っている。会議の日程や話しやすい環境を工夫した効果が現れ、家族の参加が増えており、活発な発言がなされている。会議から出た意見で、外出、買い物を増やすなど業務に取り入れ、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町担当者と出来るだけ連携が保てる様に 電話などで質疑応答に努めている。行政主催の研修にも出来るだけ参加している。	介護保険課に管理者が積極的に出向き、顔の見える関係がとれるようにしている。地域包括支援センターとも定期的に連携を図っており、お互いに相談することや、案内された会議や研修会に参加している。市町と協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(GH かぐや姫【G1】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員が出入りするドアは防犯上の理由で電子ロックを使用している。GH1、2の中扉は常に解放しており、ご利用者様に行き来して頂いている。</p>	<p>身体拘束は基本的に行っておらず、リスクはあるが行動は制限せず、利用者が自由に動き回れるようする等、環境や対応を工夫している。委員会や会議の中でも話し、職員間で意識統一し身体拘束をしないケアの取り組みがなされている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>社内、社外の虐待に関する研修に参加したらミーティング、朝礼時に内容説明し職員間で共有している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在グループホームにて2名様が成年後見制度を用いている。運営推進会議に参加して頂き成年後見制度について学ばせて頂いている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には約款の内容を説明し質問に答えている。重度化した場合の対応やリスクについても説明し同意書も頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご利用者様、ご家族様の意見、要望は運営推進会議、又ご家族様来訪時にご意見頂いたり、ご意見箱も設置しており常に対処出来る様にしている。</p>	<p>家族には運営推進会議参加時、面会時、電話等で意見を頂いており、意見箱も1階、2階と2ヶ所設置しており、気兼ねなく要望を表せるようにしている。利用者には日常生活の中でその都度要望を伺っている。浮腫軽減に足浴を行ったり、外出の機会を増やすなど意見を運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(GH かぐや姫【G1】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度のミーティング時に出る意見だけでなく、随時職員から出た内容も職員間で意見交換し、議事録に書きまとめて共有している。</p>	<p>月に1回のミーティングにはほぼ全ての職員が参加し、全員発言する機会を設けている。また、個人面談も柔軟に行い、職員の声を吸い上げる体制をとっている。備品の購入や業務の改善を行うなど職員一人ひとりの意見を大切にし、運営に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に職場環境や条件についての希望を聞く場を設けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外の研修が月に一回以上開催されており率先して参加される職員が増えている。又、研修内容を報告し職員間で共有し、介護業務に生かせる様に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>社外での研修で情報交換したり、他事業所、病院等の訪問もある。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人様、ご家族様が不安、要望等が出た場合、いつでも耳を傾けられる様な雰囲気と関係作りに努めていく。</p>		

自己評価	外部評価	項目(GH かぐや姫【G1】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族様との面談時に要望、質問等があった際は納得いくまで説明させて頂き、ご家族様と施設間の信頼関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>集めた情報を基にご家族様、ケアマネージャー、職員と共にご本人様にとって必要な支援を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>自立支援を念頭に置き、ご利用者様と職員のくくりを出来るだけ作らず、一緒に行動して一緒に笑い合える関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族様にも積極的に関わりを持って頂ける様に、行事やイベントがある時は事前に連絡している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご本人様が入所前より利用されておられた美容院へ家族様と行かれたり、月命日の墓参りに行かれたりと馴染みの人、場所に出掛けたり会ったりされている。それらの情報は常に職員間で共有している。</p>	<p>家族による馴染みの場所への外出に加え、事業所の職員が付き添い、以前から利用した病院やデパートに行くなど大切にしてきた人や場への支援を行っている。また、行事、外出、日頃の様子などを写真に収め、定期的に家族に送っており、それをきっかけに面会が増えた例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(GH かぐや姫【G1】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日中は出来るだけデイルームで過ごして頂き、職員を交えて昔の話をしたり、歌を歌ったりとご利用者様同士が関わりを持ち、笑って過ごされる様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設へ行かれたご利用者様の面会に行ったり、電話で近況を聞いたり退所後もご家族様の相談事には出来る限り応えている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の思いや希望は出来る限り意向に添う様に努めている。職員間で共有し、又ご家族様にも伝え統一していける様に努める。	利用者の生活習慣や意向に応じて過ごせるよう取り組んでおり、日頃の掃除、洗濯などや歌、制作物作成など利用者に合わせて行っている。猫が好きな利用者の為に介護タクシーを手配し「猫カフェ」に出かける例もあり、一人ひとりの思いを大切に、職員が共通認識のもと、実践している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居以前のアセスメントをしっかり把握して対応している。出来るだけ環境を変えない様、馴染みの家具・食器・洋服を身近に置いてもらってる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員一人一人が日々変化に気付ける様、目配り気配りし、その都度記録に残して職員間で共有する。		

自己評価	外部評価	項目(GH かぐや姫【G1】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアカンファレンスの際は、看護師と担当職員、ケアマネージャー、管理者同席の上ご家族様、ご本人様の意向を聞きながら支援している。又、困難な時は来訪時や電話にて意向を伺っている。</p>	<p>本人、家族の意向をもとに、管理者、看護師、担当職員からも意見を聞き介護計画作成者が介護計画を作成している。日常生活上の課題、目標、サービス内容も細かく記入してあり、現状に即した計画となっている。ケアカンファレンスは関係職員、可能な限り家族も参加され、情報共有が得られている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に日々の様子、変化等をこまめに記録している。主に介護計画の見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>固定観念にとらわれず、その時々にも生まれるニーズに対応出来る様、常に柔軟な支援を心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣の保育園児との交流や近所への散歩、買い物に出掛けている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人様、ご家族様の希望にてかかりつけ医に受診される事が、又ご家族様が病院に同行困難時は、看護師や職員が同行している。</p>	<p>入居時に本人及び家族に意向を確認し、かかりつけ医を決めており、往診のある事業所の協力医に変更される場合が殆どである。精神科、歯科など他科については入居前のかかりつけ医に継続されることも多く、受診時は家族だけでなく、職員が同行するケースもあり、安心して医療が受けられる体制がとれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(GH かぐや姫【G1】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の体調の変化や異常時には、看護師、医師に報告し、速やかに対応出来る様に支援している。ご家族様にもその都度連絡している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院された場合は、状態の報告を速やかに行い、ご家族様と病院関係者と相談し、今後の方針を決める様にしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時には契約と同時に、重度化した場合についても説明後サインを頂いている。管理者よりご家族様に事業所として出来る事を十分に説明し方針を決めている。	入居時に重度化した場合の対応等について説明し、看取りの希望について確認している。入居後も看護師を中心に適宜協力医と連携を図りながら事業所内で対応できる限界まで支援している。看取り時は、看取り介護計画書を作成し、医師、家族、職員で情報共有し、家族同様の細かい支援ができるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員全員が対応出来る様にマニュアル化し、年に何度か事故発生時の備えを再度確認している。職員がいつでも見られる様にファイルに綴っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年二回の防火訓練は実施している。防火管理者と職員立ち合いにて、消防署より説明、指導を受けている。町内会では火災時、地域住民の協力を得られる様に声掛けしている。	年2回避難訓練を行っており、火災時に迅速に対応できるように職員に周知している。地域の方も防災訓練に参加されるなど、非常時にお互い協力が得られるような体制づくりを行っている。備蓄は食料品など豊富にあり、賞味期限もデータ上で管理、随時補充している。自動通報装置の設備も整え、災害時に備えている。	

自己評価	外部評価	項目(GH かぐや姫【G1】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の自尊心や羞恥心に配慮し、人生の先輩であり、常に尊厳を持って接する様に心掛けています。月一回のミーティング時は必ず議題に上げている。	言葉掛けは「○○してもらっていいですか」等語尾にクエスチョンをつけるよう利用者目線で行っている。職員の対応で気になることがあれば、その都度指導している。また、研修も定期的に行い、職員一人ひとりが人格の尊重、プライバシーの確保について周知し、実践に繋がっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意思を尊重し無理強いや強制を行わない様心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務よりご利用者様優先と考え、一人一人がご自身のペースで生活して頂ける様に、出来るだけ希望に添える様支援していく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には可能な限りご自身で整容して頂く様に声掛けしている。毎月美容師にて散髪が行われている。外出、入浴時には職員と一緒にご本人様のお好きな洋服を選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	朝食のみだが、和食、洋食好みでお出ししている。ご家族様が持参されたり、時には出前を注文したりと食事を楽しんで頂いている。	朝食は利用者の意向により、和食、洋食で提供しており、トマトを湯煎し皮をむいで出すなど、個々の嗜好に合わせている。ケーキやおはぎなどのおやつ作りや近くのコンビニでのおやつ購入やショッピングモールでの外食を行う等食事が楽しめるよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(GH かぐや姫【G1】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご利用者様一人一人に合った食事形態にて提供している。食事量、水分量はすべて記録に残し、水分量が少ない時は声掛けをしてお好きな飲み物を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアの声掛けと十分でないご利用者様には介助を行っている。一週間に一度歯科受診があり口腔内の異常、気づきがあれば歯科に報告している。夕食後義歯のご利用者様は、入歯洗浄剤につけて、朝装着して頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>毎食事の前後、排泄の声掛けを行い、介助を行っている。又、訴えのある時は誘導を行っている。その都度記録に残し、排泄パターンを職員間で共有している。</p>	<p>排泄の記録をもとに利用者の排泄パターンを把握し、個々に応じた支援を行っている。日中はトイレでの排泄を原則とし、状態に応じ夜間ポータブルトイレを使用する利用者もいる。排泄動作は可能な限り自分で行って頂くように、支援し本人の有する能力を活かした取り組みをしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防として、毎食時の水分はしっかりと摂取して頂いている。又、便コントロールを「看護師の指示」にて行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>最低週二回の入浴を提供している。一般浴が困難なご利用者様には、機械浴にて入浴して頂いている。入浴時には職員が介助し、ご利用者様に好みの洋服を選んで頂いている。</p>	<p>入浴前には居室で洋服を選んでもらうことで、入浴が楽しくなる効果もあり、当初から実施している。本人が入浴を希望しない場合は時間、日にちを変更するなど柔軟に対応している。時には入浴剤、ゆずを入れたり、入浴の楽しみが持てるように取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(GH かぐや姫【G1】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>ご利用者様一人一人の入居前の 生活習慣を職員で共有し、無理 強いしない様に入眠の声掛けを 行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>服薬時には職員と、ご本人様と 一緒に名前、日付けの確認をし ている。新たに処方された薬が ある場合は、服薬ノートに記入 し薬の内容をしっかりと確認し理 解する。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>入居前の生活歴をしっかりと理 解し理解した上で得意な事をして 頂き、日々を楽しく過ごして頂 く様支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。</p>	<p>天気の良い日は近くの公園に出 掛けて写真を撮ったり、コンビニ で買い物をしたりしている。そ の際、ご近所の方と挨拶を交わ している。ご利用者様とご家族 様とが外出し、食事される事も 時々ある。</p>	<p>利用者の意向に応じ、近くの公 園に行きおやつを食べたり、お 花見、買物、外食などを行って いる。「家族により」外食、墓 参りなどもあり、日常的に戸外 に出かけられるよう支援してお り、利用者が楽しく生活ができ るよう取り組んでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>ご家族様よりお預かりしている お金でご利用者様が望まれる品 物を買ったり、近くのお店へ行 きご自分で買ったりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(GH かぐや姫【G1】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご利用者様の希望時には、ご家族様へお電話の取次ぎをしている。暑中見舞いや年賀状は、ご自分で書けるところまで書いて頂きご家族様へ送っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎日居室の清掃を行い、室内の照明室温にも配慮している。 朝はカーテンを開け、窓も開けてしっかり空気の入替えを行っている。</p>	<p>事業所は2階に位置し、窓も広く明るい雰囲気清潔感があり、壁には利用者と一緒に作った制作物が飾られている。テーブル、椅子に加え、ソファも適切な位置に配置され、利用者は自由に行き来ができ、居心地良く過ごせる共有空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ダイルームにて新聞を読んだり、洋裁をされたり、ご利用者様数名で話しをされたりと、一人一人が過ごしやすい環境を提供している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>出来るだけ入居前に使用されていた品を持って来て頂き、不穏なく居心地良く過ごされる様支援している。</p>	<p>自宅で使い慣れた馴染みの物を持参され、仏壇、タンスなど持ち込まれている。また、家族の写真やぬいぐるみ、置物など思い思いの愛用品があり、自宅同様の落ち着きが得られる環境となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自立支援のため、最小限の介護を行うようにしている。事故、ケガ等が起こらない様に細心の注意、職員間で声掛けしながら、安心安全に過ごされる様に支援している。</p>		

V アウトカム項目(GH かぐや姫【G1】) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫【G2】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念「相手本位の心」常にご利用者様には尊厳を持って接し否定する事なく、受容する姿勢を忘れず介護に従事している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	行事がある際は事前に町内会で報告し新聞にチラシを入れ参加を促している。出勤時やご利用者様と散歩に出掛けた時は、近隣の方達と挨拶を交わしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	毎月開催される町内会や夏祭りなどで法人による相談の窓口を設けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度開催しているが、早めに民生委員地域包括センター、家族様に連絡している。開催の際には現状について、今後の取組み、又ご家族様からの意見・要望を聞き的確に答えられる様に努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町担当者と出来るだけ連携が保てる様に 電話などで質疑応答に努めている。行政主催の研修にも出来るだけ参加している。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫【G2】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員が出入りするドアは防犯上の理由で電子ロックを使用している。GH1、2の中扉は常に解放しており、ご利用者様に行き来して頂いている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>社内、社外の虐待に関する研修に参加したらミーティング、朝礼時に内容説明し職員間で共有している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在グループホームにて2名様が成年後見制度を用いている。運営推進会議に参加して頂き成年後見制度について学ばせて頂いている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には約款の内容を説明し質問に答えている。重度化した場合の対応やリスクについても説明し同意書も頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご利用者様、ご家族様の意見、要望は運営推進会議、又ご家族様来訪時にご意見頂いたり、ご意見箱も設置しており常に対応出来る様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫【G2】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月に一度のミーティング時に出る意見だけでなく、随時職員から出た内容も職員間で意見交換し、議事録に書きまとめて共有している。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	定期的に職場環境や条件についての希望を聞く場を設けている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	法人内外の研修が月に一回以上開催されており率先して参加される職員が増えていた。又、研修内容を報告し職員間で共有し、介護業務に生かせる様に努めている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	社外での研修で情報交換したり、他事業所、病院等の訪問もある。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	ご本人様、ご家族様が不安、要望等が出た場合、いつでも耳を傾けられる様な雰囲気と関係作りに努めていく。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫【G2】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様との面談時に要望、質問等があった際は納得いくまで説明させて頂き、ご家族様と施設間の信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	集めた情報を基にご家族様、ケアマネージャー、職員と共にご本人様にとって必要な支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	自立支援を念頭に置き、ご利用者様と職員のくくりを出来るだけ作らず、一緒に行動して一緒に笑い合える関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様にも積極的に関わりを持って頂ける様に、行事やイベントがある時は事前に連絡している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人様が入所前より利用されておられた美容院へ家族様と行かれたり、月命日の墓参りに行かれたりと馴染みの人、場所に出掛けたり会ったりされている。それらの情報は常に職員間で共有している。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫【G2】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日中は出来るだけデイルームで過ごして頂き、職員を交えて昔の話をしたり、歌を歌ったりとご利用者様同士が関わりを持ち、笑って過ごされる様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設へ行かれたご利用者様の面会に行ったり、電話で近況を聞いたり退所後もご家族様の相談事には出来る限り応えている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の思いや希望は出来る限り意向に添う様に努めている。職員間で共有し、又ご家族様にも伝え統一していける様に努める。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居以前のアセスメントをしっかり把握して対応している。出来るだけ環境を変えない様、馴染みの家具・食器・洋服を身近に置いてもらってる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員一人一人が日々変化に気付ける様、目配り気配りし、その都度記録に残して職員間で共有する。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫【G2】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアカンファレンスの際は、看護師と担当職員、ケアマネージャー、管理者同席の上ご家族様、ご本人様の意向を聞きながら支援している。又、困難な時は来訪時や電話にて意向を伺っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に日々の様子、変化等をこまめに記録している。主に介護計画の見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>固定観念にとらわれず、その時々生まれるニーズに対応出来る様、常に柔軟な支援を心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣の保育園児との交流や近所への散歩、買い物に出掛けている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人様、ご家族様の希望にてかかりつけ医に受診される事があり、又ご家族様が病院に同行困難時は、看護師や職員が同行している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫【G2】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の体調の変化や異常時には、看護師、医師に報告し、速やかに対応出来る様に支援している。ご家族様にもその都度連絡している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院された場合は、状態の報告を速やかに行い、ご家族様と病院関係者と相談し、今後の方針を決める様にしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時には契約と同時に、重度化した場合についても説明後サインを頂いている。管理者よりご家族様に事業所として出来る事を十分に説明し方針を決めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員全員が対応出来る様にマニュアル化し、年に何度か事故発生時の備えを再度確認している。職員がいつでも見られる様にファイルに綴っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年二回の防火訓練は実施している。防火管理者と職員立ち合いにて、消防署より説明、指導を受けている。町内会では火災時、地域住民の協力を得られる様に声掛けしている。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫【G2】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の自尊心や羞恥心に配慮し、人生の先輩であり、常に尊敬を持って接する様に心掛けています。月一回のミーティング時は必ず議題に上げている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意思を尊重し無理強いや強制を行わない様心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務よりご利用者様優先と考え、一人一人がご自身のペースで生活して頂ける様に、出来るだけ希望に添える様支援していく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には可能な限りご自身で整容して頂く様に声掛けしている。毎月美容師にて散髪が行われている。外出、入浴時には職員と一緒にご本人様のお好きな洋服を選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	朝食のみだが、和食、洋食好みでお出ししている。ご家族様が持参されたり、時には出前を注文したりと食事を楽しんで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫【G2】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご利用者様一人一人に合った食事形態にて提供している。食事量、水分量はすべて記録に残し、水分量が少ない時は声掛けをしてお好きな飲み物を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアの声掛けと十分でないご利用者様には介助を行っている。一週間に一度歯科受診があり口腔内の異常、気づきがあれば歯科に報告している。夕食後義歯のご利用者様は、入歯洗浄剤につけて、朝装着して頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>毎食事の前後、排泄の声掛けを行い、介助を行っている。又、訴えのある時は誘導を行っている。その都度記録に残し、排泄パターンを職員間で共有している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防として、毎食時の水分はしっかりと摂取して頂いている。又、便コントロールを看護師の指示にて行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>最低週二回の入浴を提供している。一般浴が困難なご利用者様には、機械浴にて入浴して頂いている。入浴時には職員が介助し、ご利用者様に好みの洋服を選んで頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫【G2】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>ご利用者様一人一人の入居前の 生活習慣を職員で共有し、無理強 いしない様に入眠の声掛けを行っ ている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている。</p>	<p>服薬時には職員と、ご本人様と一 緒に名前、日付けの確認をしてい る。新たに処方された薬がある場 合は、服薬ノートに記入し薬の内 容をしっかりと確認し理解する。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している。</p>	<p>入居前の生活歴をしっかりと理 解し理解した上で得意な事をして 頂き、日々を楽しく過ごして頂く 様支援します。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。</p>	<p>天気の良い日は近くの公園に出 掛けて写真を撮ったり、コンビニ で買い物をしたりしている。その 際、ご近所の方と挨拶を交わし ている。ご利用者様とご家族様 とが外出し、食事される事も時 々ある。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を所 持したり使えるように支援してい る。</p>	<p>ご家族様よりお預かりしているお 金でご利用者様が望まれる品物 を買ったり、近くのお店へ行きご 自分で買われたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かぐや姫【G2】)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご利用者様の希望時には、ご家族様へお電話の取次ぎをしている。暑中見舞いや年賀状は、ご自分で書けるところまで書いて頂きご家族様へ送っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎日居室の清掃を行い、室内の照明室温にも配慮している。 朝はカーテンを開け、窓も開けてしっかり空気の入れ替えを行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ダイルームにて新聞を読んだり、洋裁をされたり、ご利用者様数名で話しをされたりと、一人一人が過ごしやすい環境を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	出来るだけ入居前に使用されていた品を持って来て頂き、不穏なく居心地良く過ごされる様支援している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自立支援のため、最小限の介護を行うようにしている。事故、ケガ等が起らない様に細心の注意、職員間で声掛けしながら、安心安全に過ごされる様に支援していく。		

V アウトカム項目(かぐや姫【G2】) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかぐや姫

作成日 令和元年 12月19日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	行事がある際、事前に報告参加を促しているが、地域の方達の参加が少ない。	地域住民の一人でも多くの参加があり、事業所と地域との交流を今以上深めていきたい。	地域交流コミュニティにご利用者様と出掛けたり、催し物がある際も参加させて頂いたりし、グループホームを知って頂く。	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。